

9月1日 関東大震災記念日

1923(大正12)年9月1日午前11時58分、関東大震災が発生。マグニチュード7.9。家屋の全半壊25万戸以上、焼失家屋44万戸以上、津波による流失家屋868戸、死傷者20万人以上、行方不明者4万人以上という甚大な被害を残しました。これを教訓とし1960年(昭和35年)に防災の日が制定されました。これって大事なことだけど、あまり面白くないです。

実は、9月1日を調べていたら「コカ・コーラの日本初登場の日」1920(大正9)年 清涼飲料水コカ・コーラが日本で最初に販売されました。販売元は 食料品店の明治屋及び、満平薬局。当初は「純良衛生飲料」として発売されましたが薬臭いなどと敬遠され、ほとんど売れず、やがて販売自体も中止されました。と言うのがあって、これは面白そうだったのだけれど、どうも根拠に乏しいのです。

まず、最初に発売された年が1916年(大正5年)という説があります。

1914年(大正3年)高村光太郎の詩集『道程』に収録された「狂者の詩」に“コカコオラ”の名前が書かれています。

高村光太郎はアメリカ、ヨーロッパの留学中に飲んだのだと言う説もあるけれど、日本人が知らない飲み物の名前を詩に書いても理解されないと思うから、日本でもすでに発売されていたんじゃないの？と思うのは、おっちゃんの推理。

「ほとんど売れなかった」に関しても、1917年にはすでに1日に300万本の売り上げがあり、1925年にはその倍という躍進を見せたという記載も見つけました。(1916年に発売されて1917年に300万本って?!)

1919年(大正8年)明治屋のPR誌『嗜好』にコカ・コーラの広告が掲載されています。

1925年(大正14)年には、芥川龍之介が、修善寺温泉から佐佐木茂策に送った手紙の中で、酒を飲んではいけなと言われるから、コカコラなんてものを飲んでいる・・・みたいなことを書いているようです。

また1930年(昭和5年)若槻礼次郎がロンドン海軍軍縮会議へ首席全権として出発する際の壮行会でコーラが出され、こんな美味しいものが世の中にあるのか!と思ったという人の話も見つけました。

こうしてみるとコーラは案外飲まれていたのではないかという気がしてきます。ただ、この後太平洋戦争に向かいアメリカのものであったコーラは禁止されたのでしょう。戦後GHPと共に再びやって来るまで待たなくてはなりませんでした。

ということで、9月1日がコカ・コーラ日本で最初に販売された日と言うのはガセ?で、結局コーラがいつから日本で売られていたのか正確なところはよく分からないのでした。チャンチャン!!

ちなみに 満平薬局というのは、創業が1891年(明治24年)旧丸ビルや帝国ホテル等に出店し、戦前は

宮内省御用達で、数々の欧米の有名医薬品や化粧品を輸入していた薬局でした。コーラが最初は薬（鎮痛剤とも強壯剤とも胃薬とも言われます・・・）として扱われていた由縁ですね。

9月2日 今日七二候の「禾乃登」

禾は「いわほ」と読み、稲のこと、一般的には、稲が実る頃とも言われているのですが・・・ちょっと時期が早いと思われませんか？

「禾」は「ノ+木」でと考えて、「ノ」は稲のような垂れ下がった穂、「木」は植物を表し、つまり稲。「乃」は「すなわち」という意味があり、「禾+乃=秀」秀は禾の花をつけた形で、イネなどの禾穀の穂が垂れて、花が咲いている姿を表わしている象形文字なのだそうです。

「登」は「実る」という意味です。

『禾乃登』は、つまり「稲の花が実り始める」という意味で、農家にとっては稲の収穫を左右する大切な時期ということがわかります。

こういう大切な時期に、台風が来るといので昔の人は「風まつり」をしたと言います。

今日は212日に当たるのですが、210日～220日の間は台風が多いといわれ、作物に暴風の被害がないように祈願するのが風まつりです。「風日待（かざ ひまち）」といって村人は仕事を休んで飲食をしたり、「風止めごもり」などと称して村の神社にお籠りをしたりしたそうです。

風まつりといえば 富山県八尾の「風の盆」が行なわれていますね。

江戸時代の元禄期、町外に流出していた「町建御墨付文書」（何かの建物を建てるための許可書）を町衆が取り戻したことを喜び、三日三晩踊り明かしたことに由来し、それが二百十日の風の厄日に風神鎮魂を願う「風の盆」と称する祭りに変化したとされています。

気品高い踊りと、昔の風情を残す町並みを見るために、この時期全国から多くの観光客が集まるそうです。一度見てみたいですね。

9月3日 ドラえもんの誕生日

ドラえもんの誕生日は西暦2112年9月3日 トーキョーマツシバロボット工場製造 型番R-01 FR001-MKⅡ。不良品だったために、金額は特価の200000円。

身長…129.3cm

体重…129.3kg

ウエスト…129.3cm

バスト…129.3cm

ヒップ…129.3cm

頭周り…129.3cm

足の長さ…129.3mm

ネズミに驚いて飛び上がる高さ…129.3cm

ネズミに驚いて逃げる速さ…時速 129.3km

なんでも 1293 が並んでいるのですが、この数字の意味は 1969 年当時の小学 4 年生平均身長だといいます。ドラえもんをのび太たちが見下ろさないぐらいの身長に設定したからだそうです。それで 誕生日も 2112 年 9 月 3 日になったのだそうです。

身長はともかく、体重がすごいのですが、これ日馬富士の体重ぐらいですね。

9 月 4 日 二宮尊徳が天明 7 年 7 月 23 日 [グレゴリオ暦 1787 年 9 月 4 日]生まれました。

二宮尊徳（金次郎）と言えば、薪を背負って本を読んでいる銅像が有名です。昔は、小学校には、たいていあったと言いますが、今はどうなのでしょう？

金次郎って、仕事をしながらも寸暇を惜しんで勉強し偉くなった人なんだろう・・・と思いますが、一体、何をした人でしたっけ？

二宮尊徳は、江戸時代の農政家、思想家で「報徳思想」を説き広めた人です。彼が生きた 1787 年～1856 年と言えば、戦国時代に国力が疲弊し切った後、江戸時代になって文化や経済が繁栄を極めるものの、再び衰退が始まった文化文政の時代です。

高度成長時代が終わり、人口が減少し始め、経済成長は鈍化しつつある今と似ています。そういう状況で、尊徳の考え方や工夫には私たちが学ぶべき点が沢山あるといいます。

尊徳が説いた「報徳思想」と言うのは、私利私欲に走るのではなく社会に貢献すれば、いずれ自らに還元されるという道徳と経済を融和させた経済思想です。

まあ、おっちゃん流に解釈すれば、真面目に一生懸命稼ぐことで、物を大切に作る心が養われ、それによって無駄遣いや贅沢を慎み、余った物を他の者に譲ることが出来る。そうすることではじめて物質的にも精神的にも豊かに暮らすことができるという教えですな。

もちろん、譲るといっても、無償で分け与えるのではなく、講（ファンドとか貯金）などの制度によって世間に還元するという事のように。

二宮尊徳が言っています。

すべての商売は、売って喜び、買って喜ぶようにすべし。

売って喜び買って喜ばざるは道にあらず。

貸借の道も、また貸して喜び、借りて喜ばざるは道にあらず。

おっちゃん、肝に銘じて、饅頭焼くよ～～～

9月5日 石炭の日 ブラウンは臨時休業します。

今日は石炭の日、何じゃそれ？石炭なんて、すでに過去のエネルギーじゃないの？って感じですが、1992年（平成4年）に経済産業省の呼びかけにより、石炭の重要性とそのクリーンな利用を周知することを目的に制定された日で「クリーン・コール・デー」と言われるそうです。

おっちゃんの子供の頃には、まだ蒸気機関車が走っていたし、学校でも冬になると石炭ストーブでした。でも、石炭はどんどん減っていき、石油に代わっていきました。石炭は、空気を汚すし、カロリーが低くエネルギー効率も悪いし、運搬にも不便だからです。

「月が出た出た、月が出た～」で有名な炭坑節に出てくる三池炭鉱が閉鎖されたのが1997年、ひとつの時代が終わったような気がしたものです。

炭鉱と言えば、山本作兵衛による炭鉱記録画が昨年ユネスコの世界記憶遺産に登録されましたね。TVで、いくつかの絵を紹介しているのを見ましたが、すごいと思いました。絵の緻密さもありますが、そんな時代があって、多くの人々がきつい労働に携わり、国を繁栄させていったという事に、ただただ感服するのです。

作兵衛さんが子や孫にヤマの暮しや人情を残したいと思って描き始めた絵が1000枚にもなったのです。思いの強さは推して知るべしですね。

後世の人に伝え残したい記憶は他にも、戦争の悲惨さや努力して開発した研究の成果など、たくさんあるでしょう。そして後世の人に残さなくてはいけないものは、地球の資源や美しい自然環境も然りです。今あるから、今の時代の人たちだけで、あるだけ使い尽くせばよいなんてありえないことです。

石炭はコストが低く、原子力より技術が安定していて、石油より埋蔵量が豊富であと100年分あると言われるますが、「じゃあ、安心」と使っているのでしょうか？

暗くて、狭くて、暑くて、汚くて、危険な炭鉱で命を懸けて働いた大勢の人のことを思えば、きれいで明るくて豊かな今の暮しを当たり前と思っはいけない気がします。単純に「石炭の日」とは言えないおっちゃんなのです。

9月6日 ホシヅルの日

ホシヅルとは、星新一が酒場でサインを頼まれた時に、苦し紛れに描いたイラスト。

「何の鳥？」と尋ねられるたびに、「鶴」と答えていたので、SFの作家仲間から「星鶴」と呼ばれるようになりました。

星の死後、小松左京の提案で、彼の誕生日である9月6日を「ホシヅルの日」と決めたそうです。

作家は亡くなった日を雅号やペンネーム、代表作などにちなんで文学忌として偲ぶことがあるけれども、誕生日が、こんなユニークなイラストにちなんだ記念日になるなんて楽しいじゃないですか！

しかし、これが鶴だなんて・・・

うみの親の私が説明するが、未来における、進化したツルの姿なのである。うまいものを食べたがるので、口が発達してくる。交通が便利になり、歩かなくなるので足が退化した。したがって、運動不足により、ふとってしまったのだ。

重くなり、もちろん飛ぶことは不可能。しかし、なぜ飛ぶ必要がある。じっとしていても、事件はすべてテレビが見せてくれる。テレビの見すぎで、目が大きくなってきた。雑然たる情報がむやみと入ってくるので、頭だって大きくなるさ。大きくてなにかがつかまっているといっても、それは頭がいいというのと別である。

このツルは行動しない。どう動いていいのかわからないのだし、動こうにも歩けも飛べもしないのだ。ただ沈黙している。

「きまぐれ暦」（新潮文庫）の「星鶴の由来」より抜粋

おっちゃんが、想像するに・・・

星さんは、愛嬌でイラストを描いたところ、思いの他反応があって

「これ何？」としつこく聞かれるから

自分でも、最も似ていないけど、もし そうであったら面白い

「鶴」と答えて、相手の表情を観察したに違いない・・・

で、まあ なぜ鶴なのか理由を、最もらしく考えたんだろう。

SF作家らしい、ちょっと皮肉った言い方で・・・現代人の行く末？！

学生時代、星新一のショートショートには、はまったよな・・・懐かしい。

9月7日 オーストラリア タスマニア州のホバート動物園で飼育されていた最後のフクロオオカミ（タスマニアタイガー）が死亡した日

しかし、その後の目撃情報がないわけではなく、未だに生存を信じている研究者もいるそうです。また保存されていたDNAで復活させる研究をしているとも聞きましたが、その後どうなったのでしょうか？

絶滅と言えば、先日ニホンカワウソが絶滅種に指定されました。

1979年以來目撃情報がなく、このたび絶滅が宣言されたのですが、明治時代までは東京でも普通に見られ

たそうです。おっちゃんが小学生の時には、高知には、まだ生きているって言われていたのですけどね。ニホンカワウソは愛媛県の県獣だそうです。

ガラパゴスのロンサム・ジョージと呼ばれたゾウウミガメも亡くなりましたね。ロンサムという愛称も切ない感じで、100歳とも200歳とも言われていましたが、長い間一人ぼっちで生きていくってどんな気持ちなんだろう？

自分が最後の一人になったらって想像すると、とても怖い気がします。

トキやコウノトリも、昔は多くの固体が生息していたのに、乱獲や棲息環境の変化で絶滅し、中国から譲り受けた数羽を人工繁殖し、自然に還す取り組みをしています。昔はたくさんいたのに・・・と思うから、余計に絶滅したということが残念な気がするのでしょうか。

豊岡のコウノトリは、巣立ちを多くの人が今日か今日かと待ち望み、TV放送までされる人気ぶりです。美しい自然が復活している象徴なのでしょう。

コウノトリはツルに似ています。（ホシヅルとは似ていません！）以前、旭川の河原でコウノトリに似た鳥を見たことがあります。後樂園から遊びに来たツルか と思いましたが、丹頂（頭の赤い部分）がありませんでしたから、豊岡から遠出してきたコウノトリか?!・・・と思ったんですよ。

絶滅していたと思われたクニマスが見つかったという事もあるし、ニホンカワウソも生きていたらいいのに・・・と、ちょっと思ったりします。

確かに持っていたはずなのに・・・でも、気づいたら無くなっていた。そんな物があつたら、持っていたときには、そうでもなかったのに、急に大切なものに思えてくる・・・きれいな空気や水って、そういうものだと思います。後悔しないように守らないと・・・。

9月8日 明治改元の日

1868年8月27日（グレゴリオ暦の9月8日）睦仁親王が即位式をあげ、「明治」と改元されました。

「明治」という元号は『易経』の「聖人南面にて天下に聴き、明に嚮にして治む」から採られました。聖人が天子に就いて政を行なえば、天下は明るい方向に治まるという意味です。

過去の改元の際に10回も候補になっていましたが、11度目にしてやっと採用されたものです。明治天皇自身が選んだものだそうです。

そういえば、平成は、『史記』五帝本紀の「内平外成（内平かに外成）」、『書経』大禹謨（偽書）の「地平天成（地平かに天成）」からで「内外、天地とも平和が達成される」という意味でしたね。これ、主語がないのですが、人々の大いなる努力によって・・・と言う意味でしょうかね？

となれば、気になるのは、「大正」と「昭和」という事で、ついでに・・・

「大正」の由来は『易経』の「大亨以正天之道也」が出典です。天が民の言葉を嘉納し、政が正しく行われるという意味です。

嘉納という言葉が使われていますが、民という意味ではない気がしますね。頼りない天皇だから、臣下のいう事をよく聞けよ！なんて意味だったりして？

「昭和」の由来は、四書五経のひとつ書経堯典の「百姓昭明、協和萬邦」によります。国民の平和および世界各国の共存繁栄を願うという意味でした。なお江戸時代にまったく同じ出典で、「明和」の元号が制定されました。だから大東亜共栄圏なんてことになったのかな？

どの元号も、なかなか意味が深いです。時代背景を合わせて考えると面白いと思いました。

9月9日 吹き戻しの日

重陽の節句は、旧暦（10月23日）の方が菊も見頃になっているので、そちらで紹介するとして、今日は「吹き戻しの日」です。

兵庫県淡路市河内の日本吹き戻し保存協会が制定しています。

吹き戻しとは、吹くとスルスルと伸びて、またクルクルと戻ってくる笛のおもちゃです。「まきとり」「巻鳥」「まきぶえ」「ピロピロ笛」「ピーヒャラ笛」「へび笛」などと呼び名もいろいろあり、昭和の初期には日本全国で作られていた、なじみのおもちゃでした。

英語では blowouts と呼ばれ、パーティーグッズの定番です。

スペイン語では、MATA SUEGRA 直訳すると姑殺し。ブラジルでは LINGUA DE SOGRA 姑の舌と呼ばれているそうです。

現在、淡路島で8割以上が生産され「吹き戻しの里」として工場見学もできるそうです。

吹き戻しを吹くことで腹式呼吸や口元の筋肉をつける訓練になったり、喘息や言語障害などのリハビリに効果的なのだそうです。実際に吹き戻しを使ったリハビリを採用している病院もいくつかあります。話し始めの子どもは、遊びながら息づかいを覚えられるとも言われています。

また、二日酔いの朝、吹き戻しを15分間吹くことで、頭痛が軽減され呼気のアルコール度数も下がるという実験結果もあるそうです。

たかが、おもちゃと侮るなかれ・・・飲みすぎる方！1本、あ 3本ぐらい吹くのがいいそうです。吹き戻しいかがですか？！

地獄のピーヒャラという、すごいのもあるそうですよ～

9月10日 1855年 長崎海軍伝習所が開設された日

1853年に浦賀沖に蒸気船がやって来てから2年後、幕府は西洋式の海軍士官を養成するために長崎に教育施設を開きました。黒船来航で幕府が慌てふためいたことは歴史ドラマなどでもよく描かれることですが、教育機関が作られたのが、2年後というのは早い対応だったのか、それとも後手に回ったのだったのか……

幕臣や薩摩藩、佐賀藩（当時藩独自の軍艦を建造していた）などから優秀な人を集め、航海術や操縦などだけでなく、造船や医学、語学などの様々な教育を施したようです。これが長崎大学や長崎造船の前身になっています。

ここで教育を受けた中に勝海舟がいます。勝は1860年に長崎海軍伝習所の練習艦であったオランダ製の「咸臨丸」で太平洋を横断し、サンフランシスコに入港しました。

長崎海軍伝習所（～1859年）は、その後築地の軍艦操練所（後に軍艦所）（～1867年）に移行されました。

また、神戸には勝海舟の提言によって神戸海軍操練所が設けられました。ここで坂本龍馬や陸奥宗光らが学んでいます。

日本海軍の教育施設は、その後1969年（明治2年）海軍操練所が開設されてから本格的に始動していきます。1888年（明治21年）には呉に移転しました。

「坂の上の雲」で描かれている、秋山真之らが卒業したのが、この頃のようなようです。長崎海軍伝習所をはじめ、海軍兵学校に至るまで、多くの優秀な人材を出しており、島国である日本が、海軍の教育にとっても熱心だったことが窺えます。

9月11日 後樂園球場が1937年開場しました。

日本に野球が伝わったのは1871年（明治4年）に来日した米国人ホーレス・ウィルソンが京開成学校予科（現：東京大学）で教えたことに始まります。その後「打球おにごっこ」という名前で全国の大学に広まりました。

プロ野球（職業野球）が最初にできたのは、1920年（大正9年）早稲田大学野球部OBによるものでしたが長続きせず、その後、1934年（昭和9年）6月9日読売新聞社の正力松太郎によって大日本東京野球倶楽部（1936年東京巨人軍に改称）が創設されたのを皮切りに、大阪タイガース（現：阪神タイガース）が1935年12月10日、名古屋軍（現：中日ドラゴンズ）が1936年1月15日、東京セネターズ、阪急軍（現：オリックスバファローズ）が1936年1月23日、大東京軍、名古屋金鯱軍が結成されました。その7チームで1936年2月5日日本職業野球連盟ができたのです。

これらのプロ野球専用の球場として阪急西宮球場（1937年5月1日）と後樂園球場（1937年9月11日）が造られました。この2球場に加え、日本初の本格的な野球場である阪神甲子園球場（1924年8月1日）とで、プロ野球が興行されました。

後楽園球場は球場の両翼が 78m しかなかったこともあって本塁打の出やすい球場としてファンの人気を集めたそうです。

第二次世界大戦末期には、グラウンドでジャガイモやトウモロコシが栽培されたり、二階席に高射砲が設置されるなど、軍の施設として使われたこともありました。

1987 年 後楽園球場は閉鎖、解体され、翌年 1988 年 3 月 18 日 後楽園競輪場跡地に日本初の全天候型球場、東京ドーム (BIG EGG) としてオープンしました。

「東京ドーム 何個分」という表現を耳にしますが、面積ならば、46,755 平方メートル、容積ならば、124 万立方メートルが「東京ドーム 1 個分」に相当します。と言っても、ちょっとピンと来ませんけど・・・。

9 月 12 日 1979 年 (昭和 54 年) 岡山県人形峠の動力炉・核燃料開発事業団のウラン濃縮試験工場が操業開始。

福島原発問題は遠く離れた岡山でも決して他人事ではありません。

鳥取・岡山県境の人形峠で大規模なウラン鉱床 (三つの鉱山) が発見されたのは 1955 年 (昭和 30 年) で、原発燃料の国産化を目指し採掘が開始されました。

特に産業もない田舎では、まるで「宝の山」が見つかったかのように、周辺の土産物店で「ウランまんじゅう」ウラン粉末を釉につかった「ウラン焼き」が売り出され、ウラン鉱石を湯船に入れた「ウラン風呂」ができたり、レコード会社からは「ウラン音頭」というレコードまで出されるという喜びようだったのです。

この「宝の山」発掘には、近くの集落の人が総出で協力し、ダイナマイトの爆煙が漂う坑道中、泥だらけになってウラン鉱石を運び出しました。人体への影響については「天然の放射能だから大丈夫」と言われていて、防じんマスクも配られなかったそうです。

こうして三つの鉱山で、1956 年から 66 年まで約 3 万 4 千メートルもの坑道を掘り、人形峠鉱山・夜次地区では 1977 年から 87 年まで露天掘りも行われ、約 8 万 5500 トンのウラン鉱石が採掘されました。

ここで採掘された鉱石のうち濃縮され取り出されたウランは 84 トンだそうです。原発を動かすには足りず、品質も埋蔵量も採算が合わないということで、三つのウラン鉱山は閉山されました。

その後、1988 年山陽新聞によって「ウラン採掘に伴い排出された放射性物質を含む土砂 (残土) が、人形峠周辺の民家近くに放置されている」との記事が掲載されたのを、きっかけに大きな問題になりました。

ウラン残土は 45 万立方メートルにも及び、これは 200 リットル入りドラム缶で 225 万本分、日本のすべての原発と核施設からこれまでに出土した核廃棄物の総量の 2.5 倍にのぼる量です。残土に含まれるウラン 238 の放射能の半減期は 45 億年と言われていて、この地域では年間換算で 60 ミリシーベルトの放射線量が計測されるそうです。

残土は、2008年4月から日本原子力研究開発機構によってレンガに加工され、2010年12月13日までに約145万個が製造され各地で花壇や歩道の整備などに使われているようですが・・・

昔から村には「あの山を、ほじくってはならない」との言い伝えがあったそうです。でも、もっとショックなのは、ウチに「ウラン焼き」の茶碗があることです・・・。

9月13日 アメリカの国歌（星条旗）の詩となった「マックヘンリー要塞の戦い」のあった日

外国の国歌のなかで分かる曲と言えば、アメリカ、それに最近頓によく聞くようになった中国、学生時代フランスかぶれの教授が、しょっちゅう歌っていたあの血なまぐさいフランス・・・他には・・・

アメリカの国歌を調べてみれば、やたら長い！！こんなに長い歌詞を国民はみんな覚えているのだろうか？

人生は重荷を背負って・・・どころの話ではない！

国歌が覚えられなければ、廊下に立たされて、放課後残されて、覚えさせられるなんてことをしそうな国でもないけどな～～

ところでマックヘンリー要塞の戦いって何？

これは、アメリカの第二の独立戦争とも呼ばれる、米英戦争（1812年6月～1814年12月）の中で最も熾烈な戦いだったメリーランド州のボルチモアで起こった戦いのことです。

要塞に立てこもったアメリカ軍をイギリス軍が容赦ない艦砲射撃で25時間攻めつづけ、それでも要塞は陥落しなかったそうです。

停戦後、翻る星条旗を見た弁護士フランシス・スコット・キーが、感激のあまり書いた一編の詩「マックヘンリー砦の防御」が、当時人気だった酒飲み歌「天国のアナクレオンへ」のメロディに合わせてアレンジされ歌われるようになったのが国歌の始まりだそうです。

「酒飲み歌？」って感じですが、君が代も似たようなものですから、やはり親しみやすい曲でなければならぬでしょう。

ちなみに当時の星条旗は星15個、縞15本でした。そしてこの米英戦争で、大統領府が焼け落ち再建されたのですが、基礎部分に残っていた焼け焦げを隠すために白く塗ったので、「ホワイトハウス」と呼ばれるようになったのだとか。

この米英戦争が、なぜ第二の独立戦争と言われるかといえば、アメリカの産業革命と西漸運動（フロンティア）が進むきっかけになり、以後国力を一気に上げていったからなのだそうです。

おお、見えるだろうか、

夜明けの薄明かりの中

我々は誇り高く声高に叫ぶ

危難の中、城壁の上に

雄々しく翻（ひるがえ）る

太き縞に輝く星々を我々は目にした

砲弾が赤く光を放ち宙で炸裂する中
我等の旗は夜通し翻っていた
ああ、星条旗はまだたなびいているか？
自由の地 勇者の故郷の上に！

(これ1番だけです。こんなのが4番まであります)

9月14日 セプテンバー・バレンタインデー

麗しき女性諸姉の皆様方、この日をご存知であらせられましょうか？
(おっちゃん、妙に低姿勢・・・)
なななんと、9月14日は女性から別れ話を切り出す日なのだそうです！

知らなかった！！

ルールは、紫色の物を身につけ、指には白いマニキュアを塗り、緑色のインクで書いたサヨナラの手紙を手渡しすること。

紫の服？アクセサリー？を身につけ、白いマニキュア？

緑のインクで書かれた手紙？・・・これは分かる。

昔、梓みちよが歌っていた「メランコリー」の歌詞にありました。随分ヒットしたので、おっちゃんも歌えます。

それで、紫は悲しみの色。白いマニキュアは愛情が冷めてしまったしるしなのだそうですが、何か根拠がありそうです。

ところで お隣韓国でも 毎月14日は、こんなイベントがありますよ。

基本はバレンタインデーで、その他は、バレンタインデーに追従して作られたものです。

1月14日 ダイアリーデー

1年間使う手帳を恋人にプレゼントする日。

2月14日 バレンタインデー

好きな男性に愛を告白する日。

3月14日 ホワイトデー

男性が好きな女性に告白する日。

4月14日 ブラックデー

バレンタインデーとホワイトデーに縁のなかった人が、お互いを慰め合う日。この日は黒い服装に身を包み、真っ黒な食べ物であるジャジャ麺を食べるそうです。

5月14日 イエローデー&ローズデー

ブラックデーまでに恋人ができなかった人が、この日に黄色い服を着てカレーライスを食べないと、独身を逃れられないという日。

6月14日 キスデー

5月のローズデーと一緒に過ごしたカップルなら、次の段階は「キス」！ということで作られた日。

7月14日 シルバーデー

恋人同士が互いに銀製品をプレゼントする日。「シルバー」には、「銀」と「年長者」の二通りの意味が

あることから、この日は両親や先輩達がデート費用を出してくれます。

8月14日 グリーンデー

蒸し暑い夏に涼しい山へ行き、森林浴をする日。その一方で、まだ恋人がいない人たちが「グリーン」という名前の焼酎を飲みながら互いを慰め合う日。

9月14日 ミュージックデー&フォトデー

ナイトクラブなど音楽がある場所で友達を集めて恋人を紹介し、公認カップルになる日。また、澄み渡った秋空の下、恋人同士で写真を撮り合う日。

10月14日 レッドデー

雰囲気の良い秋に、恋人とワインを飲みながら2人だけの特別な時間を過ごす日。

11月14日 オレンジデー&ムービーデー

恋人と一緒に映画を見て、さわやかなオレンジジュースを飲む日。

12月14日 ハグデー&マネーデー

恋人同士がハグして（抱き合って）寒い冬を暖かく過ごす日。1年間、共に過ごした彼女のために彼氏がお金を使う日。

全部読んで「くだらねえ」と思ったあなた・・・年です。

ところで 9月14日はメンズ・バレンタインデーでもあるのです。日本ボディファッション協会が、女性の下着市場の活性化を目指して1991年（平成3年）より展開している日で、男性の側から積極的に愛を仕掛ける日をうたい文句に「男性が女性に下着を贈る日」なのだそうです。これは、くだらねえ・・・なんていつてられませんか！！

9月15日 土光敏夫の生まれた日

1896年（明治29年）9月15日、岡山県御野郡大野村（現在の岡山市北区北長瀬）に生まれました。。1920年（大正9年）に東京石川島造船所（現・IHI）に入社し、スイス留学の経験もあります。技術部長を経て、1946年（昭和21年）に社長に就任しました。猛烈な働きぶりから「土光タービン」とあだ名されたそうです。

1965年（昭和40年）には東京芝浦電気（東芝）の再建を依頼され社長に就任し、翌年に経営再建の成果を上げています。その後、経済団体連合会会長を務め、岡山県名誉県民として顕彰されました。

ところで！

土光さんと言えば「メザシの土光さん」を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか？質素な生活が（1982年（昭和57年）『NHK特集 85歳の執念 行革の顔 土光敏夫』で放送され、その中で夕食にメザシを食べていたシーンが印象的だったからです。実際はヤラセだったとか、メザシも一流品だったとか、いろいろ噂されていますが・・・。

土光さんの数ある名言を見ていますと、感じることは、まず自分が率先して手本を示すのだという気概です。

「諸君にはこれから3倍働いてもらう。役員は10倍働け。俺はそれ以上に働く」

これは1965年に東芝の社長に就任した時の訓辞です。最近、部下を叱れない上司が多いと聞きます。な

ぜならば自分に自信がないから叱れないのだそうです。自分が一生懸命やってストイックに物事に取り組みれば、自ずと部下は付いて来る。そういうことでしょう。

土光さんの名言の中に「会社で働くなれば知恵を出せ。知恵のない者は汗を出せ。汗も出ない者は静かに去っていけ」と言うのがあります。しかし、松下幸之助がこれを批判して「あかんね。『まずは汗を出せ、汗の中から知恵を出せ、それが出来ぬ者は去れ!』と云うべきやね。本当の知恵と言うものは汗から出るものや」と言ったそうです。

なるほど!と思いました。さすが松下幸之助、叩き上げは違うな〜!という感じです。ちなみに松下幸之助は土光さんより2歳年上です。

つべこべ言ったり思ったりする前に、とにかくできることをやってみる。そうすればいい考えが湧いてくるだろう……

理屈を並べてもダメなんだ、ということを書いたかったように思います。

おっちゃんも、まず饅頭を焼いてから考えることにしましょう……。
饅頭を焼いていると、とにかく汗はたくさん出ます。

9月16日 エルトゥールル号遭難事件

1890年(明治23年)トルコ国軍艦エルトゥールル号が和歌山県串本大島沖で遭難沈没し、乗組員の九割近くが死亡する事故が起こりました。

トルコと言えば親日国で有名です。そのきっかけとなったのが、このエルトゥールル号の遭難でした。大島村(当時)住民のが献身的な救護活動をしたことがトルコに伝わり、日本っていい国!とトルコの人々に思われたのです。1890年のトルコの人々にとって東洋の名もない島の親切な人々のことは、強烈な印象となって今に伝わるのでしょう。

池上彰さんが言う親日国といえば、フィンランド・ポーランド・モンゴル・ブラジル・パラグアイ・トルコ・パラオ、他にもミャンマー、インドネシア、ブータンなどが挙げられるではないでしょうか? ミャンマーでの鈴木敬司氏、インドネシアでの宮原永治氏、ブータンでの西岡京治氏、などの活躍で親日家が増えたのは否めない事実だと思います。モンゴル人の親日も、戦前のモンゴル独立戦争に日本軍が加担していたことに由来するのかもしれませんが。

どちらにしても、親日は、昨日今日の付き合いではなく、随分昔の出来事が「日本っていい国じゃん!」という思い込み(?)になっているようです。もちろん、反日でデモをする国より、親日でいてくれる国がいいですね。しかもトルコ人ってアジア人とヨーロッパ人の中間なので、美女美男揃いです……余談です

エルトゥールル号の乗組員で生き残ったのは、わずか69名、この人たちは日本海軍の「比叡」と「金剛」で、翌1891年1月2日にイスタンブールに送り届けられました。秋山真之ら海兵17期生が少尉候補生として乗り組んでいたそうです。

9月17日 燕去る（七十二候）

今日は、台風の影響から強い風が吹いています。お出かけなどされる方は、お気をつけください。

そろそろ燕も南の国に旅立つ時期になりました。今年生まれた子燕も長い旅に耐える力がついたのでですね。

子育てをしている時期には、家の近所で良く見かけていた燕も、ヒナが巣立ちした後は、「燕の集団ねぐら」と呼ばれるヨシの原などに移り住みます。

夕方、河原の近くの電線などに、ビックリするぐらいたくさんの燕を見かけたことはありませんか？近くに集団ねぐらがあるに違いありません。燕たちも、空の澄んだお天気のいい日を選んで、旅立って行きます。越冬地は台湾、フィリピン、ボルネオ島北部、マレー半島、ジャワ島などと言われています。

秋になって、冴えた鳴き声を上げる鳥といえば、セキレイとモズでしょうか？スズメに似た鳴き声でピーピーと鳴いています。

また、節をつけたようにキチキチキーと鳴いているのがモズ。

涼しい風と澄んだ高い空、響き渡るモズの声

季節は、大判焼きの美味しい時期になってきます・・・！！

9月18日 1954年 蔵前国技館が正式に完成し開館式が行なわれました。

秋場所も9日が過ぎ、綱取りがかかった日馬富士、先々場所で優勝した「中年の星（?）」旭天鵬、そして貫禄の横綱 白大鵬が全勝で、盛り立てています。

今は相撲の興行が行われているのは両国の国技館ですが、ここに移る前、1984年まで蔵前の国技館で興行していました。（1950年～1954年は仮設）蔵前国技館の跡地は東京都下水道局の処理場で相撲とは関係ない場所になっています。

相撲と国技館の歴史を見れば、富岡八幡宮での奉納相撲に始まり、回向院（両国）というお寺に移り、国技館になってからも、関東大震災、東京大空襲で焼失したりGHQに接收されたり複雑な歴史があります。また名勝負、名力士も多いが、スキャンダルも少なくないですね。

外人力士が多いのは寂しい気もしますが、日本の伝統的な格闘技で下積みも大変なのに、頑張っている姿には感心せざるを得ません。

ところで、相撲は俳句の季語では秋になります。奈良・平安時代、陰暦の7月（秋）に宮中で相撲節会（すまいのせちえ）が行われたため、秋の行事ということになったと言われています。奉納相撲といわれるように、日本では大昔から、神に豊作を祈願する時や吉凶を占う時格闘技を行い、それが相撲のルーツになりました。

9月19日 子規忌, 糸瓜忌, 獺祭忌

1902年(明治35年)の9月19日、俳句、短歌、新体詩、小説、評論、随筆など多方面にわたり創作活動を行った明治の文学者、正岡子規が亡くなった日

「子規忌」の他にも、辞世の句「糸瓜咲て痰のつまりし仏かな」「痰一斗糸瓜の水も間にあはず」「をとゝひのへちまの水も取らざりき」より「糸瓜(へちま)忌」 雅号の一つから「獺祭(だっさい)忌」とも言います。

雅号と言え、ば、「子規」という雅号は結核を病み喀血した自分自身を、血を吐くまで鳴くと言われるホトトギスに喩えたもの、また「獺祭」というのは、カワウソが捕らえた魚を並べてから食べるといった中国の謂れから取ったもので自分が短冊を並べ散らしながら詩想にふける様子をカワウソに例えたものだそうです。

子規にはこうした雅号が54種類もあるそうで、「野球(のぼ一)」もそのうちのひとつです。

俳句の世界では、季語のジャンルに「忌」があつて、誰かが亡くなった日を偲んで俳句にすることがありますが、「子規忌」は秋、そして子規と言え、ば「柿食えば鐘なるなり法隆寺」(『海南新聞』1895年11月8日号掲載)が特に有名なのではないかと思ひます。

この句は 夏目漱石の「鐘つけば銀杏散るなり建長寺」(『海南新聞』1895年9月6日号掲載)によく似ており、返歌として作つたもしくは、非常に意識して作つたのではないかとされています。子規が実際に法隆寺を訪ねたかどうかは疑問視されていますが、柿が好きだつたのは本当のことのようです。

9月20日 お手玉の日

1992(平成4)年、第1回全国お手玉遊び大会が愛媛県新居浜市で開かれたのを記念して日本のお手玉の会が制定しました。昔ながらのお手玉遊びの魅力をPRするための日です。(ことして20周年です)

お手玉の歴史は古く、紀元前1994年から1781年まで続いた古代エジプト中王国の時代のハッサン王子の墓にお手玉をして遊んでいる女性が描かれている そうです。また紀元前5世紀にリディア人(今のトルコ)から、ギリシャに伝つた「アストラガリ」と言う遊びは、羊のかかとの骨を使つていたお手玉遊びの一種だつたようです。

世界各地にお手玉遊びに似たものがあり、お手玉の材質も竹のカゴのようなものであつたり、石であつたり麻玉だつたり、陶器だつたり、星の形の金属だつたりします。形も、丸だけでなく、四角や円柱型など、いろいろあるようです。

日本では、聖徳太子が使つていたといわれる水晶で出来たお手玉があります。「石名取り玉」(いしなとりだま)と呼ばれていて、東京上野の国立法隆寺博物館に保管されています。

そもそも、おっちゃんの子供の頃、お手玉と言え、ば女の子の遊びで、2、3個のお手玉をジャグリングみた

いに投げたり、足の甲で続けて蹴ったり、歌を歌いながら投げたり蹴ったり背中で受けたりしていたのを見たことがあります。「お手玉」と言ったり「おてんこ」と言っていた気がします。で、おっちゃんはお手玉の遊び方は知らないです。

男の子の遊びといえば、馬乗りだったり、肉弾や1号2号（しけい）だったり……。それに、一時、ヨーヨーやらカチカチクラッカー（アメリカンクラッカー）が流行ったことがありました。これを小学生の時に遊んだことがあるという人は、年齢が分かりますね～～～1971年3月、わずか一月だけの爆発的な人気だったそうです。

考えてみれば、男の子はビー玉や軟球、女の子はお手玉やゴムとびを、いつも密かにポケットに忍ばせていた気がします。今の小学生のポケットに入っているのは、どんな物なのでしょうか。

9月21日 1954年 御木本幸吉（96歳）が亡くなりました。

御木本幸吉と言えば真珠養殖の研究、開発に成功した人で「真珠王」とも呼ばれています。真珠の美しさや人気の程は言うまでもありませんが、この真珠養殖の発明は「日本の十大発明」のひとつといわれています。

「日本の十大発明」って?! 知らなかったな～～～

豊田佐吉（木製人力織機、自動織機）

御木本幸吉（養殖真珠） 1954年9月21日没

高峰譲吉（タカチアスターゼ、アドレナリン）

池田菊苗（グルタミン酸ナトリウム）

鈴木梅太郎（ビタミンB1、ビタミンA） 1943年9月20日没

杉本京太（邦文タイプライター） 1882年9月20日生まれ

本多光太郎（KS鋼、新KS鋼）

八木秀次（八木・宇田アンテナ）

丹羽保次郎（NE式写真電送機）

三島徳七（MK鋼）

これは、昭和60年（1985年）4月18日（発明の日）日本の産業財産権制度が100周年を迎えたことを記念して、特許庁が選定・顕彰したものです。長い努力の末の結果で、永久にその功績をたたえるにふさわしいと選ばれたもので、今は特許庁のロビーにレリーフが飾られているそうです。

豊田佐吉が最初に挙げられてます。子供の頃伝記を読みましたね。岡山出身の杉本京太氏もおられます。邦文タイプだけでなく、邦文モノタイプ（活字鑄造機）も発明し製造しています。

研究や発明をした人の生涯をたどれば、研究のあまり貧乏暮らしで、周りからは奇人変人と思われる人も少なくないです。

でも、成功の秘訣は、強靱な精神力と自信、信念、集中力……。凡人の比ではないようです。苦勞が多いほど、成果も大きいということでしょうか？見習うべきところは、たくさんあるようです。

9月22日 救世軍日本伝道記念日・孤児院の日

この二つの出来事は、どちらも岡山と深い関係のあるものなのですが、お分かりでしょうか？
おっちゃんは、この事実を知って感動したのですが・・・

救世軍と言えば、年末の「社会鍋」を思い浮かべる人も多いと思いますが、日本人初の救世軍仕官（牧師）は、哲多町出身の山室軍平で、1895(明治28)年、救世軍日本支部が設立された時、先頭に立って布教活動をしました。

また孤児院の日は1887(明治20)年、岡山の医師、石井十次が日本初の孤児院「孤児教育会」を創設したことを記念するものです。山室軍平と石井十次は交友関係があり、協力して福祉活動に取り組みました。

石井十次・山室軍平・アリス・ペティ・アダムス・留岡幸助は「岡山四聖人」と言われていますが、これら立派な人のことを、あまり知りませんでした。
山田火砂子監督の「石井のおとうさんありがとう」「大地の詩～留岡幸助物語～」は石井十次・留岡幸助の生涯を描いた映画です。

歴史学者、奈良本辰也氏の講演で岡山は宗教に縁の深いところと聞いて意外な気がしていましたが、

金光教の発祥の地で本部がある。
黒住教の発祥の地で本部がある。
ほんぶしん（天理教系）の本部がある。
宗教法人釈尊会の発祥の地で本部がある。
宗教法人三穂の家（やかた）の発祥の地で本部・関連施設がある。
浄土宗の開祖「法然」の出身地。
臨済宗の開祖「栄西」の出身地。
三大稲荷のひとつがある
不受不施派（日蓮宗不受不施派）（不受不施日蓮講門宗）
池田光政による「神道請制度」 など
宗教にまつわる事柄が多いのは事実のようです。

「岡山四聖人」もキリスト教関係者ですし、やはり岡山は宗教にかかわりのあるところかもしれません。

奈良本辰也氏は「生活することで精一杯のところには宗教は育たない」とも言っています。やっぱり「晴れの国、米のなる木をまだ知らぬ」ってことでしょうか。

9月23日 1871年（旧暦8月9日）明治政府が散髪脱刀令（さんぱつだっとうれい）を出した日

これは、当時の最高府であった太政官から太政官布告として発令されたものです。しばしば「断髪令」といわれますが、ちょんまげを切ることを強制した命令ではなく、ちょんまげを強制するのではなく、髪型を自由にしていよというものです。

ですから、島津忠義のように鬘を結った姿で大日本帝国憲法発布式典に出席した人もいました。

しかし、明治天皇を始め、政府の高官、官吏は次々に散髪していきました。文明開化を象徴する散髪です

から、特に公務員たちは強引に断髪させられたようです。

しかし、この布告を誤解した人も多かったようで、女性が短髪にしたり、反対の一揆が起こったりしたそうです。

「断髪令」は、おとなり韓国でも発令されたことがあります。1895年12月30日のことです。急速な近代化を進めるために朝鮮王朝からの詔勅でしたが、これは大反発を受け1年ほどのちに撤回されました。

「身体、髪、肌は父母から譲り受けたもので、傷つけないのが孝の始まりだ」という儒教の考えと反日思想が理由だったと言われていています。反日思想はともかく、儒教の教えと言うのは今となっては見る影もありませんね。

中国では清の時代に儒教の教えから辮髪を強要していました。1911年までこの命令は続きましたが、清朝が滅びると自然に廃れていったようです。

9月24日 1949年インド首相のジャワハルラール・ネルーから贈られたゾウ・インディラが上野動物園に到着した日

戦時猛獣処分によって上野動物園ではゾウやライオンなど14種27頭が毒殺や餓死により殺処分されました。土家由岐雄の童話『かわいそうなぞう』（1951年）で、広く世に知られることになりました。上野動物園にはジョン・トンキー・ワンリー（花子）の三頭の象がいましたが、餓死による殺処分が行なわれました。

戦後、上野動物園がある台東区の子供達が上野動物園に象が欲しいと運動を始めました。そのことを知ったインドの貿易商のニヨギ氏が、近く帰国するからネルー首相にこの話を伝えて、何とか実現するようお手伝いしましょうとの申し出がありました。

そこで子供たちは、インドの首相ジャワハルラール・ネルーに宛てて、想像で描いた象の絵や作文を書いたのです。耳が小さかったり、鼻が短かったりした象の絵を見て首相は日本の子供達に象を贈る事を決めたと言います。

象の名前は「インディラ」、ネルー首相の娘の名前をとって命名されました。

まだ街のあちこちには焼跡が残り、人びとは食糧難に苦しんでいた時でしたが、台東区の子供達のこの快挙は、全国の子供達に大きな希望を与え、暗い世相に明るい話題となりました。

ネルー首相は台東区の子供たちに次のようなメッセージを送っています。（概略抜粋）

この象は、私からのではなく、印度の子供達から日本の子供達への贈物です

。

子供はどの子国の子供も似ていますが、大人になると喧嘩をします。

私たちは、そのような喧嘩は止めなくてはなりません。

私の願いは印度の子供達や日本の子供達が成長した時には、それぞれ自分達の立派な祖国の為だけでなく、アジアと世界全体の平和と協力のために尽くして欲しいという事です。

このインディラという名を持った象は、印度の子供達からの愛情と好意の使者です。

象というものは立派な動物で、印度では大変に可愛がられ、印度の代表的なものです。象は賢くて辛棒強く、力が強く優しい動物です。私達も象の持つ良い性質を、身につける様にしてゆきたいものです。

パンダは、愛情と好意の使者だったのかな？とちょっと思ったおっちゃんです。

9月25日 1954年日本中央競馬会が中央競馬を初めて開催した日

もちろん、何事にも歴史はあるのですが、競馬の歴史なんて考えたこともなかった。おっちゃんの子供の頃には「走れコウタロー」という歌が流行って、そのときダービーだとか本命穴馬とか、ちょっと違うけどダイサンゲンなんて言葉を覚えたのです・・・この歌は1970年にヒットしています。

この後、第一次競馬ブームを引き起こしたと言われる「ハイセイコー」が登場します。1973年のことです。

日本で西洋式の競馬が最初に行なわれたのは1860年と言われています。明治時代には、優秀な軍馬を調達する目的もあって競馬は多いに奨励されていました。

1908年には政府公認の競馬会が行なわれ、その後馬券の発売も解禁されました。1936年には特殊法人日本競馬会が成立しましたが、戦後独占禁止法に違反するとして、GHQによって解散させられます。

そこで1948年から1954年まで、競馬は国営として農林省が管轄していました。

しかし、国による運営に異論が唱えられるようになり1954年9月に日本中央競馬会が設立し、9月25日初の競馬が開催されたのです。

競馬馬と言えば、オグリキャップ、ディーピンパクトなどは競馬を知らない人でさえ名前を聞いたことがあるに違いありません。名馬でしたね・・・そういえば去年は三冠馬が出ています。オルフェーヴルです。

今年の菊花賞は、ゴールドシップかディーブプリランテ、それともロードアクレイムか？競馬についての是非はあると思いますが、馬が走る姿は美しく、そしてカッコいいものですね。

9月28日 午後5時～ RSK イブニング5時「うまコレ！」のコーナーで
ブラウンが紹介されることになりました。見てくださいね～

9月26日 浅井長政が亡くなった日

浅井長政が亡くなった日は、つまり小谷城の戦いが終わった日です。

ドラマでもよく出てくるお市の方と3人の娘（茶々・初・江）が織田軍に引き取られた日でもあります。

姉川の戦いで負けた浅井方は、小谷城でおよそ3年に及ぶ籠城を強いられます。小谷城はその3年間に修築と補強が行われ「戦国五名城」に数えあげられる堅固な城となります。

この小谷城にも「白米城伝説」が伝わっています。白米城伝説と言うのは、籠城の際、飲み水が無くなったのを敵方に知られないように、白米を流して、水に見せかけたと言うものです。

小谷城内では馬洗池から飲み水を調達していました。、今でも豊富な水をたたえている池ですが、信長軍（秀吉）はスパイを放ち城の将兵からこの池の水源を聞き出し、水を絶ったと言われています。他にも、馬に白米をかけて、水で洗っているように見せかけるなど、全国にいろいろな白米城伝説が残っています。

信長は自害した浅井長政の頭蓋骨を薄濃（はくだみ）、つまり漆に金粉をかけたものにして、正月の酒宴で肴にして喜んだと言われています。

また、長政の生母「阿古御料」は信長に捕らえられ、十指を数日の間にじわじわと切いおとすという拷問によって死んだと伝えられます。

信長は、相当、長政の裏切りが許せなかったと思われる。なんとも残酷で気持ちわるいこと、この上ない。。。。。

しかし、三女の江が徳川秀忠に嫁ぎ、三代将軍家光を生んだことにより、将軍の外祖父に当たる長政は、死後60年近くたって従二位中納言を贈られています。不思議なめぐり合わせとも言えるのではないのでしょうか。

9月27日 1988年アウンサンスーチー氏などにより、ミャンマーに国民民主連盟が結党されました。

1988年8月8日ビルマで大規模な民主化要求運動が occurred。僧侶や学生などビルマ軍によって鎮圧され殺害された人々は数千人に及ぶといわれています（軍事政権は数十人と発表しています）。そんな中で国民民主連盟（National League for Democracy、NLD）は結党されました。

1990年の国民議会総選挙では485議席中392議席（占有率81%）を獲得する大勝利をおさめましたが、軍事政権が国民議会を召集するのを拒み、NLDの政治活動をすべて禁止し、関係者を逮捕投獄するという恐怖政治が始まりました。

1992年から2011年までミャンマーのトップは軍人のタンシュエによる独裁が続きました。公共の施設には、必ずタンシュエの写真が掲げられており、まるで北朝鮮の金日成のようでした。

ミャンマーは軍事政権と言われながらも、町は貧しいなりに活気に溢れ、治安もよく、観光旅行には、うってつけの国でしたが、言論統制や思想統制は厳しく、出版物の検閲は当たり前、人の集まる所には必ず、諜報員や盗聴器があったと言われています。

2007年 ミャンマーのヤンゴンで反政府デモを撮影中だったカメラマンの長井健司氏が鎮圧中のミャンマー一軍兵士に銃殺される事件が起きました。奇しくも9月27日のことです。

2010年秋に選挙が行われ、民主政権に移行しました。アウンサンスーチー氏も議員になり、海外での遊説の様子は日本でも大いに知られるところです。

昆虫や甲殻類は脱皮の直後体が柔らかく外敵に狙われるとひとたまりもありません。今のミャンマーは、ちょっとそんな様子に似ています。列強が食指を動かしています。民主化がよい方向に変革することを願って止みません。

写真は昨年開かれた在日ビルマ連邦少数民族協議会（東京）での模様です。

1989年までは、ビルマ、その後はミャンマーと称しています。スーチー女史も国内ではビルマ、対外的にはミャンマーと使い分けているようです。軍事政権による呼び名の変更ということで、ミャンマーを使うか使わないか議論を呼ぶところです。

9月28日 蟄虫戸を閉ざす（七十二候）

そろそろ虫が巣籠もりをするという意味です。虫が冬越しの卵を産み始めるって意味でしょうか……。まだ冬籠りには早すぎます。夕方、虫を食べるコウモリが飛ばなくなると、やっぱり夏が終わった感じがします。コウモリは夏の季語、別名「蚊食鳥」とも言われます。

ところで気象協会が24節季を見直すと言い出して、俳句関係者をはじめ各界から、猛反対だったそうです。

24節季は立春とか啓蟄とか春分とか……。そういうヤツです。

これは太陽の動きを元に一年を二十四に等分し、その区切りと区切られた期間とにつけられた名前です。月の満ち欠けで1ヶ月を数える太陰暦は、1年が12ヶ月だったり13ヶ月だったりします。日差しの長いときが暑くなり、短くなれば寒くなる太陽の動きを無視するわけにはいかなくて、太陽の動きと月の満ち欠けの両方をうまく利用しようとして24節季が考え出されました。

立春は だいたい2月4日ごろ、「最も寒い時期なのに立春なんて！これ季節があってない！」ということで「見直すべき」という意見が出たとか。

でも寒さの頂点を越えたところから春が始まるのでは、ありませんか？

暖くなるのも、三寒四温（これも実は日本の気候とはちょっと違っているらしいのですけど）で4歩進んで3歩戻るって感じで、春になるのですから、暖くなるには当分先ですけど……

暖かくなって春、暑ければ夏、涼しくなってから秋、寒くなったら冬なんて、そういうモロな感じ方は西洋的じゃないでしょうか？

日本料理や和菓子なども、季節を先取りしてこそ粋なのです。

「小さい秋見つけた」と言いながら季節の兆しを感じるのが日本文化だった気がします。

慌しくバタバタしながら、暖房・冷房完備の中で仕事をしていたら、今が一体どの季節か分からなくなってしまう。そんな現代人の暮らしのほうが、よほどズレています。そうでなければ、地球温暖化？！

中国から来た文化だから合わないなんて意見はナンセンス。聖徳太子の時代から使われてきた 24 節季を見直すというのなら、もっと別の意味でお願いします！！

七十二候の方は細かいので南北に長い日本国内ではズレがあるのかもしれませんが、でも、それはそれで一興なのですが・・・

9月29日

1902年 ニューヨーク・ブロードウェイに初の商業ミュージカル劇場が開場した日

この出来事は、いろいろなところで引用されていますが、何と言う劇場で、こけら落としの演目は何かなど詳しいことは調べ切れませんでした。当時、興業主として名を馳せたローレンス・ジグフェルドが、関係するのかもしれませんが。ミュージカル劇場が集まる界隈を「タイムズスクエア」と名前が付いたのがは1904年です。

さて、ミュージカルなんて、敷居が高い！まず、オペラとミュージカルって何が違うんだ？ってところから、始めないと・・・

オペラはオーケストラが演奏し、台詞の部分も譜面のある歌で表現され、「歌劇」といわれます。進行は指揮者が行ない、声楽家は基本的に踊りや演技はしません。

ミュージカルの演奏は必ずしもオーケストラではなく、コンボバンドや録音物によって賄われ指揮者もいません。台詞と歌が半々ぐらいで、俳優は歌って踊れて台詞も言わなくてはなりません。

オペラが17世紀のヨーロッパが発祥なのに対し、ミュージカルはアメリカで生まれた文化です。なるほど・・・

ミュージカルと言えば、ブロードウェイが代名詞のように言われます。

ブロードウェイってどんな所？ それはニューヨ市マンハッタンを南北に走る通りの名前で、そこに大小さまざまなミュージカル劇場があります。小さいところは「オフ・ブロードウェイ」と言うのだそうです。

ブロードウェイで今一番人気のミュージカルは「オペラ座の怪人」「ライオンキング」「マンマ・ミア！」なんだそうです。

これらは、「ロングラン公演」と言われますが、ブロードウェイでロングランと言うのは、いちど上演が始まると客足が落ちて収益が見込めなくなるまで興行が続けられます。ですからヒットすれば何年でも上演が続くそのかわり、ヒットしなければ数日で終演になることもあります。なかなかシビアですね。

オペラ座の怪人は1988年から、ライオンキングは1997年から、ママ・ミア！は2001年から公演が続いています。

ミュージカルなんて見たことがないと思っても、ミュージカルから生まれたヒット曲は少なくありません。CMのBGMやその他いろいろな場面で、耳にしていますよ。

『ラ・マンチャの男』の「見果てぬ夢」、『CATS』の「メモリー」、『回轉木馬』の「You'll never walk alone」は、震災の後によく聞きました。『わたしを野球につれてって』なんて、メジャーリーグのテーマソングかと思ってましたし・・・『サウンド・オブ・ミュージック』から生まれたヒット曲は、いまや世界的なポピュラーソングになっています。

敷居が高いと思っていたミュージカルも、案外身近な感じがしてきました。こうなったら、ブロードウェイまで行ってみるか?! ロングランってことは、やっぱり世界中から観客が集まるからなんだろうと思います。

そういえば、子供の頃連れて行ってもらった宝塚のミュージカルで隣の席の外国人のご夫人が、イヤホンをして鑑賞していたことを思い出しました。

不思議そうに見ていた私のために、そのご夫人がイヤホンを耳に当ててくれたのです。外国語が聞こえて、とっても驚いたことを今頃思い出しました。

9月30日 1939年（昭和14年）厚生省が「結婚十訓」を発表しました。

「結婚十訓」？ 何だ、それ？

- 1 一生の伴侶に信頼できる人を選べ
- 2 心身ともに健康な人を選べ
- 3 悪い遺伝のない人を選べ
- 4 盲目的な結婚を避けよ
- 5 近親結婚はなるべく避けよ
- 6 晩婚を避けよ
- 7 迷信や因襲にとらわれるな
- 8 父母長上の指導を受けて熟慮断行せよ
- 9 式は質素に、届けは当日に
- 10 産めよ殖やせよ国のため

団塊の世代でもないおっちゃんさえ この10番は聞いたことがあります。

あなたたちは産めよ、増えよ、地に群がり、地に増えよ。（旧約聖書 創世記9章7節） あれ？ ちょっと違いますね?!

「増えよ」 は神様の祝福ですが、「殖やせ」は命令です。

親のいう事をよく聞いて、早めに信頼できる優秀なDNAを持った伴侶と結婚しなさい。盲目的で一時的の恋愛感情で結婚をしてはダメ、って言ってます？

おっちゃんに言わせれば、余計なお世話! って感じですけど、当時は戦力になる軍人、人爆弾(?)が必要だったのですかね?

これはナチスドイツの「配偶者選択10か条」に習って制定されたものだそうです。戦争って、こんなナン

センスも当たり前になるのでしょうか。

また 翌年には「国民優生法」が出され、遺伝性精神病や遺伝性身体疾患、遺伝性奇形の人には優生手術（不能手術）をするという信じられない法律が発令され、またその翌年には20年後に内地の総人口を1億人にするために1夫婦は平均5人の子供を生むように奨励した「人口政策確立要綱」が出されています。それで 多産家庭の表彰も行なわれています。

そのとき、日本一になったのが 長崎県の白戸さんで20年で16人の子供を儲けたのだそうです。

そういえば、ちょっと前ですけど、女性は子供を生む機械だと例えた厚生労働大臣がいましたねえ。柳沢伯夫大臣は、その後も問題発言を連発しました。

石原都知事も「女性が生殖能力を失っても生きているってのは、無駄で罪です」なんて言いました。

また、最近では出生前診断で胎児の異常を調べることが出来るようです。

「障害児を生んで育てなければならない母親が中絶する権利」と

「生まれてくる子供の生きる権利」が対立し生命倫理問題になっています。

世の中が「エデンの園」ならば、神の祝福のように

「産めよ、増えよ、地に群がり、地に増えよ」 なんでしょうけど、この世は、なかなか世知辛いのですわ・・・

そんな時は、甘いブラウンでもいかがですか～～～